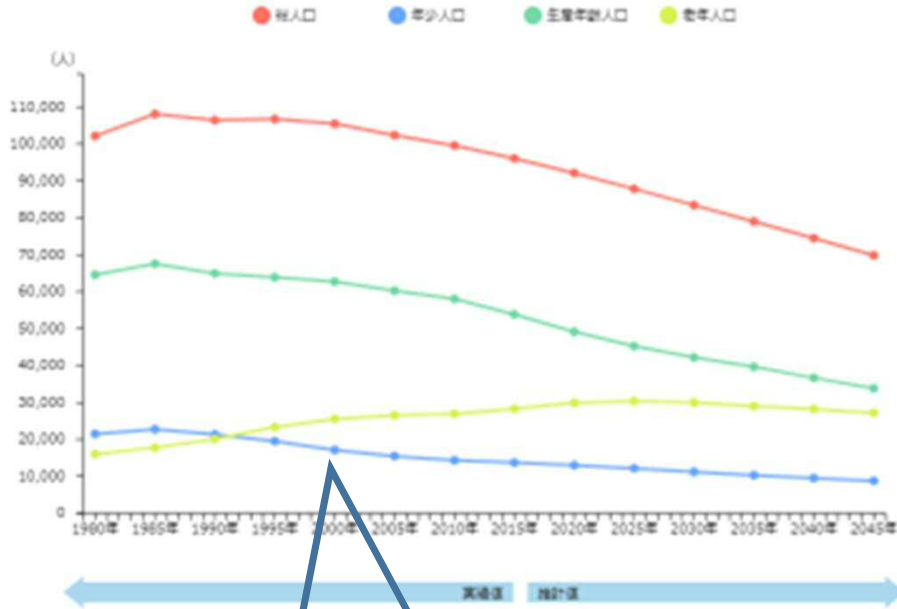


世代間交流で地域も人も活性化！

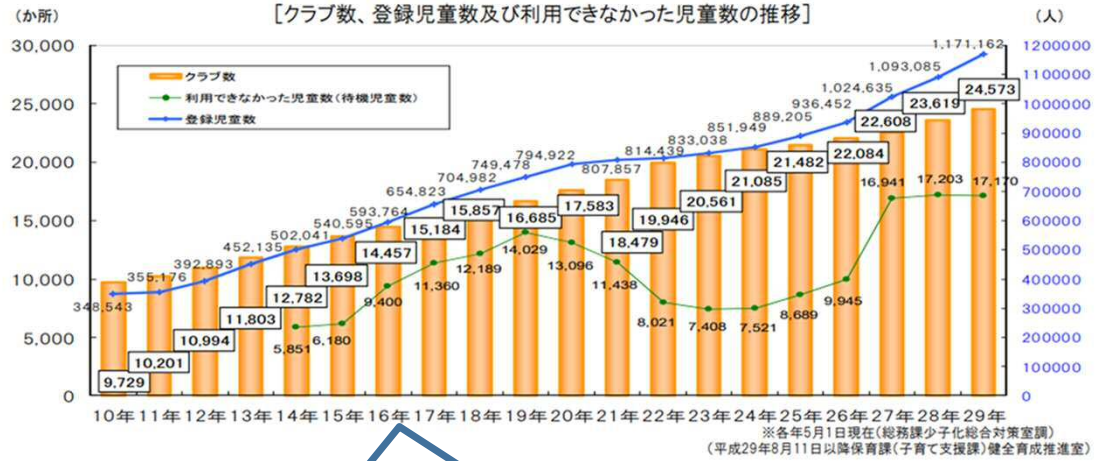
れいめい高等学校普通科
キャリアアップコース3年 高浜 菜々

人口推移

鹿児島県薩摩川内市



老年人口は
増えている！



学童児童の利用人数とともに
利用できなかった児童数も
増加傾向にある！

出典：RESAS



薩摩川内市の高齢者について

高齢者65歳以上人口

➡ 28,303人

一人暮らし65歳以上人口
(単身世帯で暮らす者)

➡ 6,456人

薩摩川内市の児童クラブの現状

・ 児童クラブ数 → 17

・ 児童クラブ数 児童 (人)

平成22年度 530

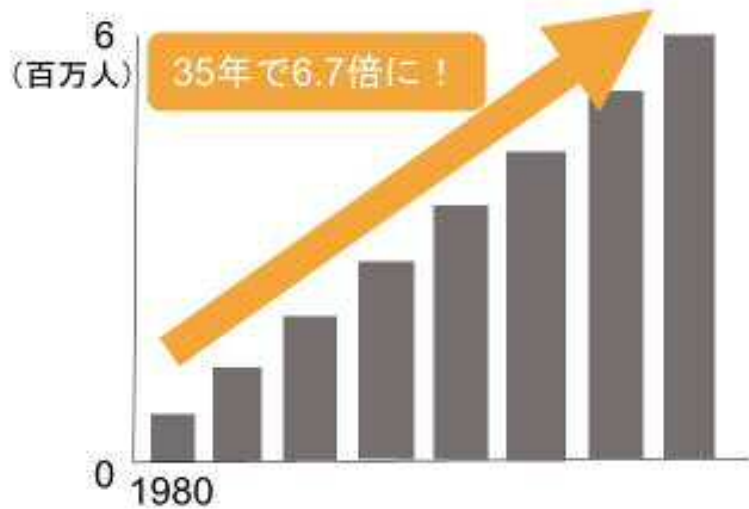
平成23年度 581

平成24年度 621

平成25年度 715



高齢者（65歳以上）の一人暮らしの割合



友人はいるか



出典：内閣府

高齢者の一人暮らしが引き起こす問題

① 認知症

認知症高齢者462万人

厚生省研究班調査 予備群は400万人

65歳以上の高齢者のうち認知症の人は推計15%で、2011年時点で462万人に達すると見られる。厚生省研究班（代発研究者・朝田謙次郎大教授）の調査で明らかになった。軽度認知障害（MCI）と呼ばれる「予備群」が約400万人いることが初めて明らかになった。

調査は、90以上の地域で、5,338人の調査対象者を対象に、認知症の診断基準に基づき、医師が面接を行い、認知症の有無を判断し、軽度認知障害の有無を判断した。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。

軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。

軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。

軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。

軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。軽度認知障害は、認知症の発症の前段階と見られる。

② 孤独死

孤独死 ひとつとじゃない

一人暮らしの半数「身近な問題」

都市が「老いる」

「1人暮らしの半数が孤独死」

「都市が老いる」

「1人暮らしの半数が孤独死」

1ヵ月後発見 遺品整理は業者に

「1人暮らしの半数が孤独死」

「都市が老いる」

「1人暮らしの半数が孤独死」

薩摩川内市の問題点

①高齡者の増加

②学童児童数・待機児童数の増加



エデリーラーニングクラブ

運用費用

クラブ利用料

年間登録料：2,000円

利用料：600円×利用日数

延長料金：30分毎につき300円

開園時間

平日：12時～19時

土・日・祝日及び長期休暇
：8時～19時

学童指導員（高齢者）の給料

時給800円

ポイント！

- ・ 薩摩川内市の空き家を利用する
- ・ 放課後だけでなく、子供たちがいつでも来れるようにする
- ・ 学童指導員の高齢者だけでなく、地域の高齢者で集まれるコミュニティの場とする
- ・ 料理体験や畑仕事体験などさまざまなイベントを行う

メリット

- ・一人暮らしの高齢者の認知症、孤独死の防止につながる
- ・高齢者の雇用を生み出すことができ、生きがいにつながる
- ・待機児童数を削減することができる
- ・学童指導員の人手不足解消につながる
- ・世代間交流により学ぶこと楽しむことができ、地域活性化につながる

エデリーラーニングクラブで
高齢者も児童も地域も活性化！！